

「COVID-19 流行下におけるテレワーク勤務が健康指標に及ぼす影響」
にご参加いただいた皆様へ

独立行政法人 地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター

当施設では倫理審査委員会の審査を受けて院長の許可を受けている「COVID-19 流行下におけるテレワーク勤務が健康指標に及ぼす影響」を実施しております。本研究は 2023 年から行われている研究で、ご参加いただいた皆様より健康診断ならびに人間ドック受診結果と問診結果についての情報等を提供いただきました。

対象者に該当する可能性のある方またはその代理人で、臨床情報等を「COVID-19 流行下におけるテレワーク勤務が健康指標に及ぼす影響」に関する研究で活用することを希望されない場合は、下記の連絡先にお問合せください。

また本研究に関する資料の閲覧をご希望の場合も下記の連絡先にお問合せください。

【研究「COVID-19 流行下におけるテレワーク勤務が健康指標に及ぼす影響」について】

研究の名称	COVID-19 流行下におけるテレワーク勤務が健康指標に及ぼす影響」について
当施設における研究責任者	独立行政法人 地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター・健康管理センター 本間聡起
研究期間	倫理審査委員会承認後～2.5 年（情報の保存期間は 10 年間）
研究の目的	テレワークは COVID-19 流行下で普及した。そして、労働衛生の管理面について厚労省もガイドラインを策定し、産業衛生学会等でもテレワークが生活習慣病予防などの健康管理法に及ぼす影響について検討されている。本研究は、未だ検討が成されていない多職種にわたる健診施設利用者における健康診断・人間ドック受診時の検査結果について、COVID-19 流行以前である 2018～2019 年度と 2022 年度の対比をテレワークの経験の有無別に比較・検討する。これにより、COVID-19 流行下での健康指標へのテレワークの影響を調査する。
活用、共有・提供する試料・	問診事項（テレワーク勤務の経験歴、受診時年齢、性別、

情報の項目	現病歴、既往歴、合併症、薬歴、飲酒量、喫煙歴、家族歴、運動習慣の有無)、身体計測値(身長、体重、腹囲)、検査結果(血液・尿検査結果)
活用、共有・提供する者の範囲と情報の二次利用について	本研究において収集された情報は、本研究のためのみに活用され、他の研究・事業に活用されることはない。
情報の活用、共有・提供を停止する権利	研究の遂行に際しては、研究者は匿名化情報のみを扱うこととするが、被登録者またはその代理人の求めに応じて、情報の活用、共有・提供を停止することができる。
情報の管理責任者	独立行政法人 地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター・健康管理センター 本間聡起